

月刊

社協だより

平成30年
9月号



発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

ドローンの空撮で見た湯坂の山

七月六日の甚大な豪雨災害の後、やっと一息つけるのかなと思っておられる家庭も多いかと存じます。

そんな時、広島市社会福祉協議会のご協力で湯坂川の大規模な崩壊の様子や鳴川の落石による川のせき止めの原因を探り、今後の対策を練るためにドローンでの空撮が出来る技術者を派遣して頂きました。

山陽自動車道の東側にある湯坂の山々をドローンで撮影した結果、湯坂の山では沢山の土石流跡が観察されました。私達が中深川から狩留家に向かって帰る時、正面の山に見える大きな土石流の跡もその一つです。

この度の豪雨では、その中の数筋の土石流が志和トンネル付近に流れ込み、また湯坂川の氾濫を引き起こしたと推測されます。その他にまだまだ、幾筋もの土石流跡が観察されます。今後少し酷い雨が続いたら下流にある狩留家の町に土石流がさまざまな勢いで流れ込む

だろうと大変心配しています。

この状況を皆さんが知って、今後の警報には過敏に反応して身の安全を図る必要があります。狩留家・町づくり推進協議会会長と湯坂町内会会長の連名で、土石流を堰きとめる「砂防堰堤」設置の依頼を松井市長宛に提出しております。しかし、

敬老祝賀会開かれる

九月十七日(月)敬老の日には約八十名の参加で敬老祝賀会が開催されました。



九月十七日(月)敬老の日には約八十名の参加で敬老祝賀会が開催されました。

このハンカチで皆さんのうれし涙を拭いてくださいとプレゼントが送られました。百二歳のおばあちゃんを中心に記念撮影が無事終了しました。宴会の部では、芸達者な人たちによる演芸です。席に座っている人のうち、約二十名が演芸に出演されました。元気な高齢者が多いこと。

被害件数が多く、狩留家よりもっとひどい所も沢山あるので、何時「砂防堰堤」が設置されるかは分かりません。とにかく警戒警報には過敏な位に対応しましょう。近所の方々と声掛け合わせて、共に避難しましょう。

鳴川は木が繁茂していてドローンでの空撮は出来ませんでした。鳴川沿いを歩いて確かめるしかなく今後の課題です。
(会長記)

理事会報告

平成三十年九月十一日
一、敬老祝賀会について
二、狩小川子どもフェスタについて(十月二十八日)
三、赤い羽根共同募金について

狩留家カフェに誘われて

集会所に出かけて、ワクワクしながら恐る恐る中を覗くと、文教大学・修道大学の学生さん達が優しく迎えてくれました。中に入ると多くの人がちが来て賑やかでした。案内されて椅子に座ると、好きな飲み物とお菓子をいただいで皆さんとお話をしたり、また先日の狩留家の水害時のドローンの映像を見て水の恐ろしさを痛感しました。その間にもお話をしたり飲み物のおかわりをしませんかと。お昼になると、無農薬野菜と狩留家なすのおい

しいカレーを頂いて満腹になりとてもよい日でした。気配りと優しい学生さん達やみんなが災害のない世の中になると良いと思います。帰る時は、車のところまで送ってもらい感謝・感謝でした。ありがとーう。

愛の灯

本多 前狩留家保育園園長 多
享子先生より豪雨災害に対
する義援金を戴きました。
ありがとうございました。

八月資源ごみ売上 二万二千円